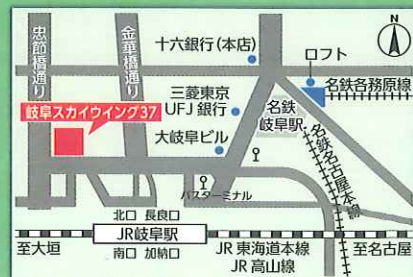


肥料と育て方の方の工夫で 野菜をおいしく作る話

連合農学研究科では、平成22年度から環境をテーマとした公開講座を毎年行ってきました。平成30年度は「肥料と育て方の方の工夫で野菜をおいしく作る話」をテーマに、構成大学である静岡大学の協力を得て行います。本講座では、農家だけではなく一般家庭においても広がりを見せている野菜の栽培について、肥料と育て方の方の工夫で野菜をおいしく作る方法を、わかりやすく解説いたします。



申込不要
入場無料
テーマ毎の参加OK

平成30年 9月 22日(土)
12:45~16:20 (受付12:00)

岐阜大学サテライトキャンパス 多目的講義室(大)

岐阜スカイウイング37 東棟4階(JR岐阜駅徒歩5分) 〒500-8844 吉野町6丁目31番地

対象者 / 一般・高校生



大学院連合農学研究科長 千家 正照
12:45~13:00



『有用菌のパワーを野菜栽培に活かそう!』
13:00~14:00
講師 岐阜大学応用生物科学部 清水 将文

近頃、ヒトの健康と腸内細菌との関係に注目が寄せられており、いわゆる善玉菌を含むヨーグルトや乳酸菌飲料などを積極的に摂るよう心がけておられる人も多いのではないのでしょうか。実は、植物でも体面や体内に住む微生物(以下、菌と呼びます)が成長や健康に大きな影響を及ぼして、ある種の有益な菌を与えることで植物の病気を防いだり、成長を良くしたりできることがわかっています。そして、それらの有用菌の一部は、すでに微生物農薬といった形で商品化もされています。本講演では、野菜栽培への有用菌の活用法についてお話ししたいと思います。



『美味しいお茶の作り方—美味しさは日陰で育まれる—』
14:10~15:10
講師 静岡大学農学部 森田 明雄

日本でチャ栽培が始まって800年以上、今では「日常茶飯事」という言葉にあるように、茶は私たちにとって生活に欠かせない飲料となっています。岐阜県でも揖斐茶と白川茶が生産されています。しかし、その栽培方法を科学的に論じられることはほとんどありません。そこで、今回は、他の作物と異なる独特な栽培方法をいくつか紹介し、チャの持つ植物栄養特性に迫ります。また、最近、いろいろな食品に添加され、身近になった抹茶(てん茶)について、その栽培方法、特に光と成分(美味しさ)との関係についても紹介します。



『土を診て、ムダのない施肥を』
15:20~16:20
講師 岐阜県農業技術センター土壌化学部 和田 翼

みなさんは肥料を与えれば与えるほど作物が元気になり、たくさん収穫できると考えていませんか? 食料を増産する必要があった時代にはこのような考え方もありましたが、近頃は畑の土の中に肥料分がたまり、メタボ気味になっている事例が多く見られます。もちろん、たまっている肥料分の多くは、作物が利用できるものです。そこで、重要性が改めて認識されているのが土の健康診断、「土壌診断」です。本講演では、県内の土壌の現状や土壌診断の結果に応じた適正な施肥に向けた取り組みの事例から、ムダのない施肥に向けたヒントをご紹介できればと思います。

【岐阜大学大学院連合農学研究科】

岐阜大学と静岡大学で構成する博士課程の大学院で、農学分野を中心に研究・教育活動を行っています。この講座は、本研究科が中心となり、構成大学の岐阜大学応用生物科学部、静岡大学大学院総合科学技術研究科の協力を得て実施します。

主催 岐阜大学大学院連合農学研究科

【お問い合わせ】 TEL 058-293-2984 E-mail renno@gifu-u.ac.jp

